

『ハートフルなまちづくり』をめざして——

公明党堺市議会議員団

みやもっちゃんだより

第29号

2011年冬号

堺市議会議員

宮本恵子

堺市北区百舌鳥赤畑町2丁92-1-605

市民相談 ◎市役所控室／当番日毎週木曜日 ☎228-7203 (直通) ◎自宅事務所／☎252-0780

※平日の日中は市役所へお電話ください。不在の時は連絡先の伝言をお願いします。

今こそ、市民の生命と財産を守る、ための予算編成を！

「ひとが輝き元気のある街・堺」の実現へ！

来年度予算要望

災害に強いまちづくり、子育て環境の充実
教育立市・堺の実現など生活重視の施策

『全54項目より抜粋』

【総務財政関係】

○行政情報システムの効率化と費用対効果の視点を重視し、大幅なコストダウンを図ること。また、情報システムの集約と共同利用をめざす“自治体クラウド”へのシステム移行を推し進めること

【市民人権関係】

○災害に強いまちづくりを推進するため
・小学校のコンテナ型備蓄倉庫を、中学校等へも配置すること
・避難所には、衛星電話の設置や移動式無線の配備を行うこと
・発災時、市民への避難指示や勧告が速やかかつ確実に伝わるよう、屋外スピーカーの拡充や危機管理体制の強化を図ること

○市民の救命救急の意識を高めるため、救命救急キットの導入やAED及び心肺蘇生法の学習機材等の拡充を図ること。また、自治会等への、AEDの設置補助を図ること

【健康福祉関係】

○がん検診率向上に向けた施策の拡充・前立腺がん検診を新たに各種がん検診に加えること

○ヒブワクチンや小児肺炎球菌ワクチン及び子宮頸がん予防ワクチンの公費助成の継続・高齢者肺炎球菌ワクチンの全額公費助成を早期に実施すること

○おでかけ応援バス(100円バス)については、毎日実施に向けて取り組むこと

○保育所待機児ゼロを実現すること

【産業環境関係】

○百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向け、市民意識の醸成に努め、百舌鳥・古市古墳群将来整備計画(グラントデザイン)の実現に向けた取り組みを推進すること

○新規卒業者の就職支援の充実・拡大や障害者雇用に取り組む企業を支援すること

【建設関係】

○地下鉄御堂筋線の堺市内3駅における可動式ホーム柵設置を推進すること

○上下水道事業は、安全・安心な水道供給と、料金の値下げを含め市民サービスを向上すること

○堺市内の踏切交通の安全対策を実施し、早期に危険な踏切の解消を図ること

【文教関係】

○学校のクーラー設置、トイレ整備、芝生化等の教育施設の充実を図ること

○中学校昼食支援については、より効果的な実施方法を検討し、全校実施を図ること

○放課後児童対策については、子どもの健全育成と安全確保の観点、及び配慮を要する児童の待機解消のため、指導員の配置拡充、資質向上に努めること



堺市長へ要望書を提出(11月4日)

“わが街の防災総点検”を実施！ (10月11日～10月26日)

3.11を教訓に、地域の方々と災害時の避難所となる学校施設の安全・防災機能の点検、併せて学校からのご意見・要望を聴取させて頂きました。



●主な報告事項

防災・備蓄倉庫

全小学校(96)にコンテナ型倉庫を配備済み(仮設トイレ、発電機セット、毛布など確認)

衛星通信電話

未整備

太陽光パネル設置

災害時(停電等)の太陽光パネルは、未整備(一部校に環境教育用として設置)

水の確保

飲料水の配備は無し、災害時は各区役所に配備の水・アルファ化米等を運搬

洋式トイレ

40校/96校 設置済み

マンホール式トイレ

7校/96校 設置済み(各区に1校設置、今後5年間で全校に設置)

その他、耐震化の現状確認、避難所設置時の学校の対応などお聞きしました。



北八下小学校備蓄倉庫



職員室設置の無線



中百舌鳥小学校備蓄倉庫



金岡南小学校備蓄倉庫



西百舌鳥小学校
北区第1号設置のマンホールトイレ
(災害時は、組み立て式の囲いを設置)



百舌鳥小学校
組み立て式リヤカー

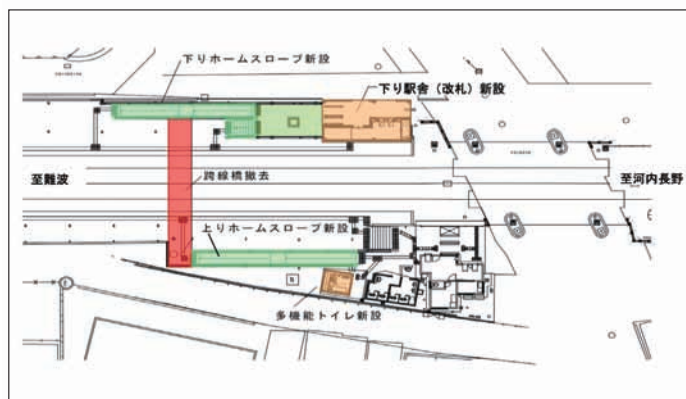
南海高野線

“百舌鳥八幡駅”改札口(下り側)などバリアフリー化工事!

踏切道の拡幅が完了し、4年半が経過しました。住民の皆様のお声を頂き、要望を続けてきた駅のバリアフリー化が始まっています。

工事は、下り(中百舌鳥駅)方向への改札・ホームへ上がるためのスロープ・多目的トイレなど設置。車いすやベビーカーを使用される方、また高齢者など、全ての方が移動しやすくするためのものです。

工事開始に伴い、両ホームを結ぶ橋について「安全のために撤去しない



方法に変更を！」と要望いただきましたが、ホームへ上がるためのスロープ設置のため、設計上不可との事。

今後も安全対策について要望してまいります。



下り・改札口設置工事



上り・改札口

“分権型社会の実現を!!” 「指定都市行財政問題懇談会」で国へ要望 衆院第一議員会館にて(11月15日)

政令指定都市が抱える行財政問題について、国会議員と全国19政令市の議員が意見交換する懇談会に党市議団を代表して出席し、以下要望を致しました。

- ①分権型社会の実現に向けた国と地方の税源配分の見直し
- ②都市税源の拡充強化
- ③国直轄事業負担金の廃止
- ④生活保護制度の見直しと全額国費負担へ(現在は市が4分の1負担)
堺市：一般会計に占める生活保護費・関連費の割合は12.7%
- ⑤学校ICT環境整備の拡充 など



都市再生対策特別委員会視察(広島市・岡山市)

(10月3日・4日)

広島市総合交通戦略

○路面電車(LRT化)の特徴

・車輌数150両(全国1位) ・年間輸送人員 3,685万人(全国1位)

*自動車の普及と共に、全国各地で路面電車が廃止になる中、軌道敷内一般車輌乗入れ禁止や国内外から廃止された電車を譲り受け、輸送力の増強等により都市輸送の立て直しに努める。

○LRT化の効果

・費用便益：年間約5億円
・スピードアップ・定時性アップ・輸送力アップ・バリアフリー化・快適性アップ・交通結節点の整備・環境負荷の軽減



広島市役所での研修・意見交換

岡山市都市交通戦略

○都市構造と交通体系の概要

・都心を中心に放射線状に広がった道路、鉄道、バス路線が広がり、一極集中型の都市構造
・まちづくり・都市交通の課題は25%を超える高齢化率

○交通戦略の目標(短期・中期の重点交通施策体系)

・都心と地域拠点との連携軸の強化
・都心内の回遊性の向上

○岡山市にふさわしい交通

・誰もが利用しやすい公共交通
・人と環境にやさしいLRT

「交通政策」から
「街づくり」へ



納車直後の新型車両“MOMO II”(岡山電気軌道)

堺市においては、現状の鉄道と結節する東西の交通軸をどう結ぶかが重要な課題。街づくりと併せた本市の交通戦略について、今回の視察を活かしてまいります。

健康福祉委員会(島根県出雲市・松江市)

(10月17日・18日)

県立こころの医療センターを視察・「がん対策推進条例」を研鑽

こころの医療センターは精神科「県立湖陵病院」が、湖陵町から出雲市へ移転改築され、2008年2月から新病院としてスタート。



若松分校の教室

維持管理など一部を民間ノウハウを活かしたPFI方式で運営。

ここには「若松分校」と言って、同病院に入院中の子

どもたちのために、昭和48年から小中学校が併設され、医療と連携したきめ細かい教育への支援体制がなされ、感銘を受けました。

また県庁にて「島根県がん対策推進条例」(日本初の条例)について、がん対策推進室室長より制定経緯や施策展開などお聞きし、条例の意義やがん施策の展開など質疑応答。

堺市のがん対策や条例制定へ向け、意義あるものとなりました。

議会だより 9月定例会 健康福祉委員会にて質問・要望! (要旨)

◎「高齢者の虐待対応・権利擁護」について

- ・高齢者虐待の状況（堺市）
【件数】平成21年度：122件、平成22年度：135件
【内容】身体的：91件、心理的：49件、経済的：31件など（重複回答あり）
【相談・通報者】介護支援専門員など介護関係者が最も多く、続いて警察
- ・虐待対応について「立入調査」などの行政権限を行使できるのは市であり、各区の地域福祉課である。現在の体制では、行政権限が行使できる人材の配置や体制が不十分であると指摘。
本庁へ虐待対応の中核機能を設けるなど、体制の強化を要望。
- ・「在宅高齢者虐待対応専門職チーム」など弁護士・社会福祉士などの更なる活用を要望。
- ・第2次堺市地域福祉計画にある「権利擁護の中核的なセンターの設置」について現状確認と早期の設置を要望。
- ・その他、権利擁護に関して要望しました。



平成22年度決算・健康福祉分科会

◎「高齢者社会参加促進事業」

【おでかけ応援（100円）バス】について

- ・事業の平成22年度決算額は9717万円。
- ・平成16年より実施の本事業。効果検証が、未だ実施されていない理由について質問。
- ・この事業で外出される高齢者がどれだけ増加したか?という評価は重要。また経済波及効果や健康促進による医療費抑制等、効果は多義にわたっているはずである。
- ・効果検証せずに、様々な施策を計画するという行政の仕事のやり方について正しました。

*** おでかけ応援バスについて早期の毎日実施（利用）を要望しました。**

子どもの安全を守れ

教育長へ緊急申し入れ(10月13日)

10月12日に堺市中区内の市立小学校で起きた4年生男子児童の転落死亡事故を受け、堺市教育長に原因の究明と再発防止を求める緊急の申し入れを行いました。



専門家の視点で「危険個所をチェックするなどの対策とともに、児童の心のケアも必要」とした上で、

- 1.早急な事故原因の究明
 - 2.各市立学校・園における施設等の老朽・危険個所の緊急点検
 - 3.校内の安全確認と、児童・生徒への安全指導の徹底
- 以上、3項目について要望を致しました。

「年金支給年齢引上げ報道」について

- 今回の騒動は、民主党政権の「社会保障・税一体改革成案」に支給開始年齢の引き上げが盛り込まれていたため、厚労省が検討せざるを得なくなった様子。しかし、引き上げの必要性を何ら示さずに、厚労省が検討を始めたため大騒ぎに。厚労省というよりも、民主党政権運営の未熟さが原因とみるべき。
- 年金制度は国民の信頼に大きく依存。このため、年金制度の改正は国民の信頼を損ねることのないよう、慎重に進める必要がある。今は、支給開始年齢を段階的に引き上げている最中であり、その過程で唐突に、さらなる引き上げの検討を行うこと自体、民主党政権の失政だと判断せざるを得ません。世論をミスリードし、年金制度への無用な不安・不信を増長させました。
- 年金制度は若年世代が生み出した所得を高齢世代に再配分する仕組み。制度の安定性を確保するためには、出生率の回復を図る政策が最も有効。若年世代の正規雇用を増やし、結婚し、子どもを産み育てやすい社会にすることも極めて重要。一方で、経済成長を進め、国民所得のパイを増やす施策が課題。

**現行制度 積立金 160兆円超（09年度末）で財政は健全！
出生率 1.26（05年）→1.39（10年）に回復！**

